

決算レポート

2025年6月期 第2四半期

オルバヘルスケアホールディングス株式会社
(旧 株式会社カワニシホールディングス)

(証券コード：2689)



つなぐ、人と未来。

OLBA
HEALTHCARE

Contents

- ◆ 企業理念
- ◆ 2025年6月期 第2四半期業績概要
- ◆ 2025年6月期 業績予想及び配当の基本方針
- ◆ 中期経営計画 概要
- ◆ 参考資料

企業理念



OLBA
HEALTHCARE

ビジネスを通じて、
医学・医療・介護の発展に貢献し、
国民の健康長寿に寄与する



社員憲章

事業のあり方

- ビジネスを通じて、医学・医療・介護の発展に貢献し、国民の健康長寿に寄与する
- 革新的な新機能・新技術の恩恵を、患者と医療機関に速やかに適切に提供する
- ステークホルダー（顧客、取引先、社員、地域社会、株主）の皆様に、誠実かつ継続的に価値を提供し、持続可能な経営を追求する
- 業界の内外を問わず積極的に交わり、創造性を育み、グローバルな視点でフロンティアを探索する

組織のあり方

- 人材育成を専び、「マネジメント（人を通じて事を成す）」に重きをおく



2025年6月期 第 2 四半期業績概要



OLBA
HEALTHCARE

■世界的なインフレ・円安

- ・ 海外製品が多い医療機器の**価格は上昇傾向継続**
- ・ 営業活動拡大や仕入改善等の対策を実施
- ・ 代替品提案織り交ぜながら、販売価格への転嫁交渉を実施。 **一定の利益水準を確保**

■主力医療器材事業での関西支店設立

- ・ 関西エリアでの顧客獲得進み、神戸営業所を**関西支店へ昇格**

■好調な消耗品販売

- ・ オリンパスマーケティング社との協力体制構築
⇒2023年4月開始から一巡後も、消化器内視鏡関連製品の売上高はトータルで**前期比9.1%増**
- ・ 関西エリアでの新規施設での獲得
⇒循環器消耗品の売上高はトータルで**前期比8.7%増**

売上高、売上総利益、親会社株主に帰属する中間純利益が過去最高

	百万円	予算比	前期比
売上高	60,627	△0.2%	+5.5%
売上総利益	6,819	△1.5%	+6.0%
売上総利益率	11.25%		
販売管理費	6,011	△1.8%	+5.8%
営業利益	808	+1.0%	+8.2%
経常利益	824	+3.9%	+10.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	648	+27.2%	+33.3%

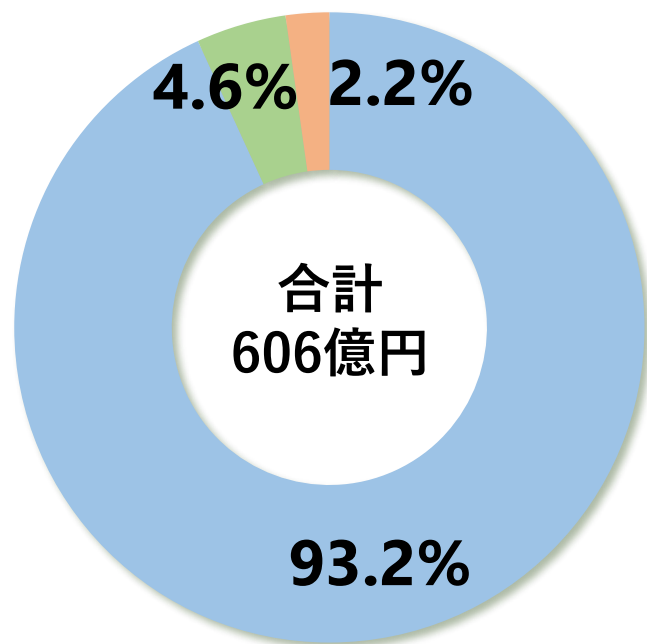
【親会社株主に帰属する中間純利益の差異について】
子会社の本社移転統合計画に伴う、
過年度の不動産減損処理に関する税効果会計の影響

1株当たり中間純利益 109.44円

事業セグメント別 2025年6月期 第2四半期業績

売上高構成比

■ 医療器材 ■ SPD ■ 介護用品



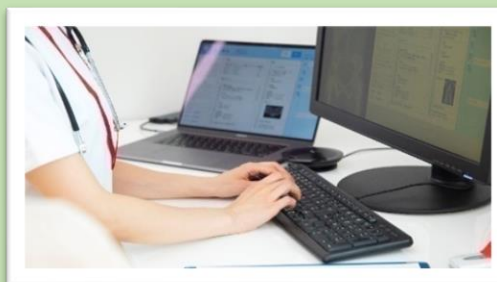
[2025年6月期2Q] 売上高 (営業利益) ※売上高はセグメント間内部売上高含む

572億円
(7.1億円)



医療器材事業
医療現場のトータルパートナー

28億円
(0.5億円)



SPD事業
医材流通のスペシャリスト

13億円
(1.0億円)



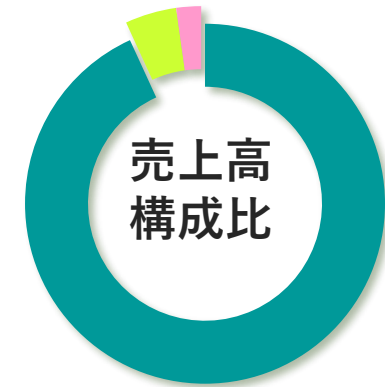
介護用品事業
介護用品のトータルサポート

医療現場のトータルパートナー

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※1	57,294	+0.1%	+5.5%
営業利益	715	△0.1%	+6.9%



医療器材〔93.2%〕



百万円	売上高実績 ※2	前期比
カワニシ	38,625	+6.2%
サンセイ医機	13,290	+0.7%
日光医科器械	5,969	+12.0%

※1 売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

※2 個別会社の売上高実績は、グループ会社間の取引金額を含む

医療器材事業 消耗品

売上高 520億円 前期比 7.6%増

単位：百万円

商品分類	売上高	前期比	サブセグメントのポイント
手術関連消耗品	25,970	+5.7%	内科+15.6%、消化器内視鏡+9.1%、外科+6.6%
整形外科消耗品	14,126	+10.3%	人工関節+12.1%、外傷・スポーツ・関節鏡+9.7% 脊椎△10.9%
循環器消耗品	11,938	+8.7%	カテーテルABL*+14.6%、心臓虚血治療+13.3% 心臓血管外科領域△0.7%

* ABL：心房細動などの頻脈に対して心臓の一部をカテーテルを用いて焼灼または冷凍処置する治療
※売上高(前期比含む)は新収益認識基準適用前の管理会計に基づく集計値



超音波メス

ジョンソン・エンド・ジョンソン
ホームページ (<https://www.jnj.co.jp/>) より



人工膝関節

ジンマーバイオメット ホームページ
(<https://www.zimmerbiomet.com/ja>) より



ペースメーカー

メドトロニック ホームページ
(<http://www.medtronic.com/>) より

医療器材事業 設備備品

売上高 65億円 前期比 5.8%減

設備備品売上のポイント

- ◆コロナ等補助金による需要増加が一服
- ◆大型案件少なく、少額備品の案件発掘強化
- ◆クリニック向け自動精算機販売は好調



自動精算機

カワシバークメド HP
(<https://kawanishi-bm.co.jp/>) より



人工呼吸器

Philips ホームページ
(<https://www.philips.co.jp/healthcare>) より



解析機能付き 生体情報モニタ

フクダ電子 ホームページ
(<https://www.fukuda.co.jp/>) より

医材流通のスペシャリスト

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※	2,842	+1.7%	+9.8%
営業利益	55	+2.6%	+5.3%

※売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

契約総数

直接 74件

FC 2件



物品管理



情報管理



購買管理



- ◆ 物品管理サービス料金の見直し
- ◆ 仕入価格上昇分の価格転嫁や仕入改善実施
- ◆ 給与ベースアップの影響などにより販管費増

介護用品のトータルサポート

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※	1,369	+0.1%	+4.0%
営業利益	105	△3.3%	+3.4%

※売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

- ◆ 在宅医療・居宅介護需要の継続
- ◆ 主力の介護用品レンタルは前年同期比4.4%増
- ◆ レンタルに付随する物品販売・住宅改修も順調



レンタル



販売



リフォーム



2025年6月期業績予想 及び 配当の基本方針



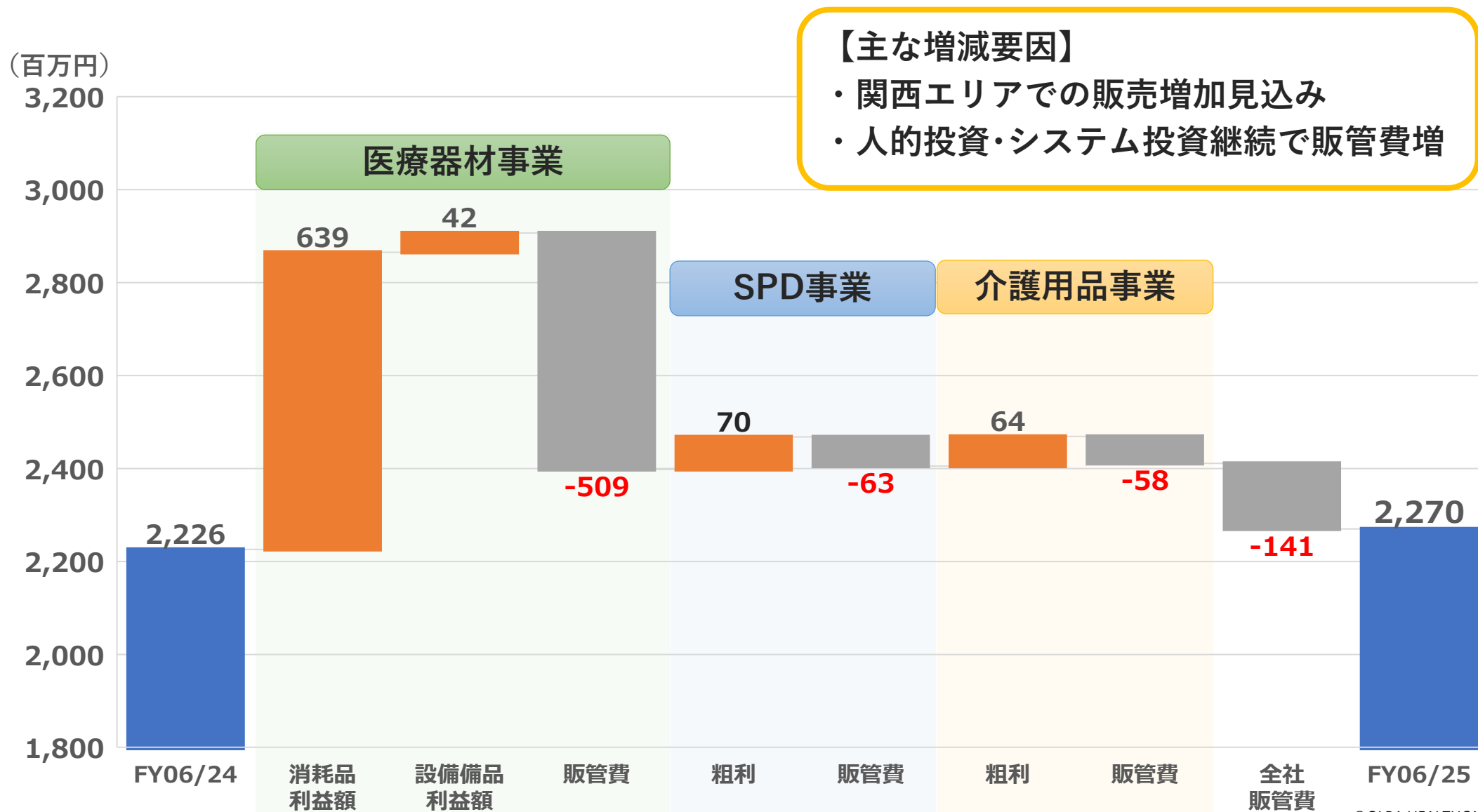
2025年6月期 通期連結業績予想

売上高、売上総利益、営業利益、経常利益が過去最高となる予想

(百万円)	予想	2024/6実績	増減
売上高	123,726	118,564	+4.4%
売上総利益	14,446	13,600	+6.2%
売上総利益率	11.68%	11.47%	+0.21
販売管理費	12,176	11,374	+7.1%
営業利益	2,270	2,226	+1.9%
経常利益	2,253	2,244	+0.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,465	1,500	△2.4%

1株当たり当期純利益 247.65円

2025年6月期 営業利益 増減要因

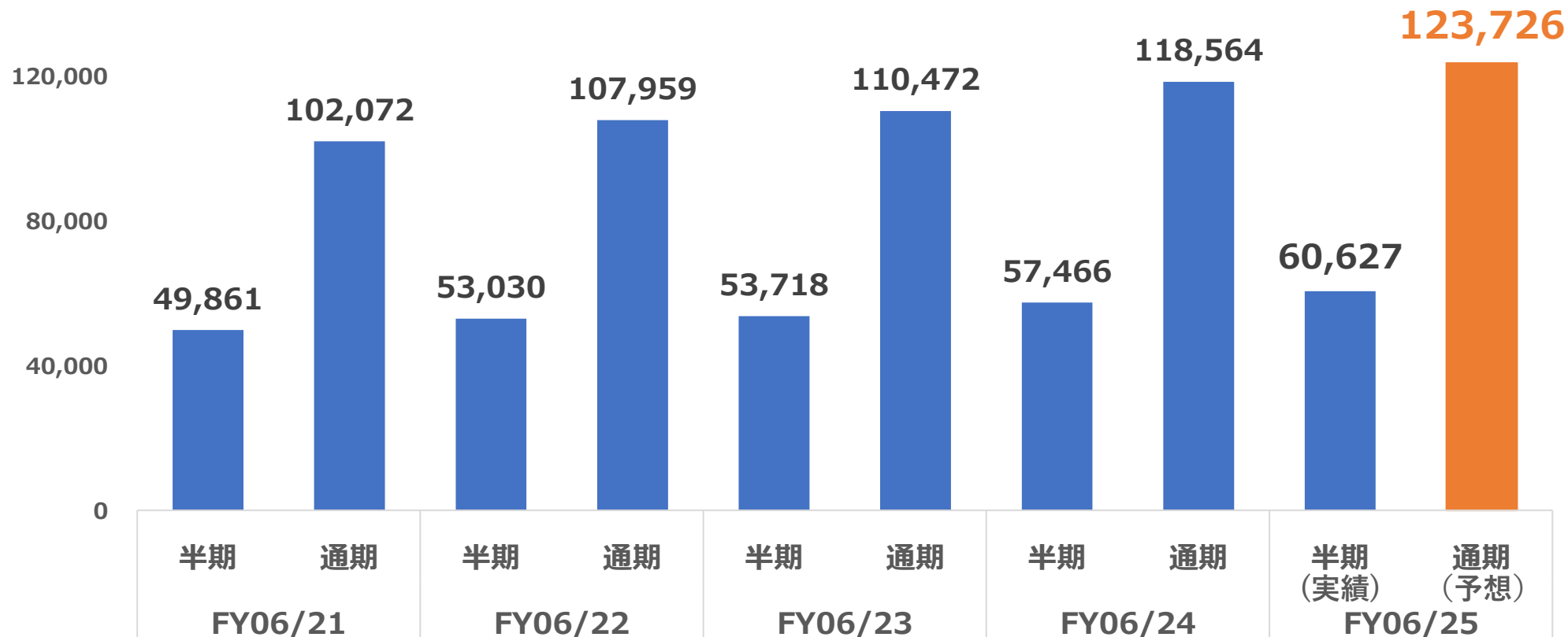


【連結売上高】 過去最高の予想

2025年6月期 **1,237億円**の予想
(前期比4.4%増)

5期連続増収・過去最高へ

(百万円) 160,000

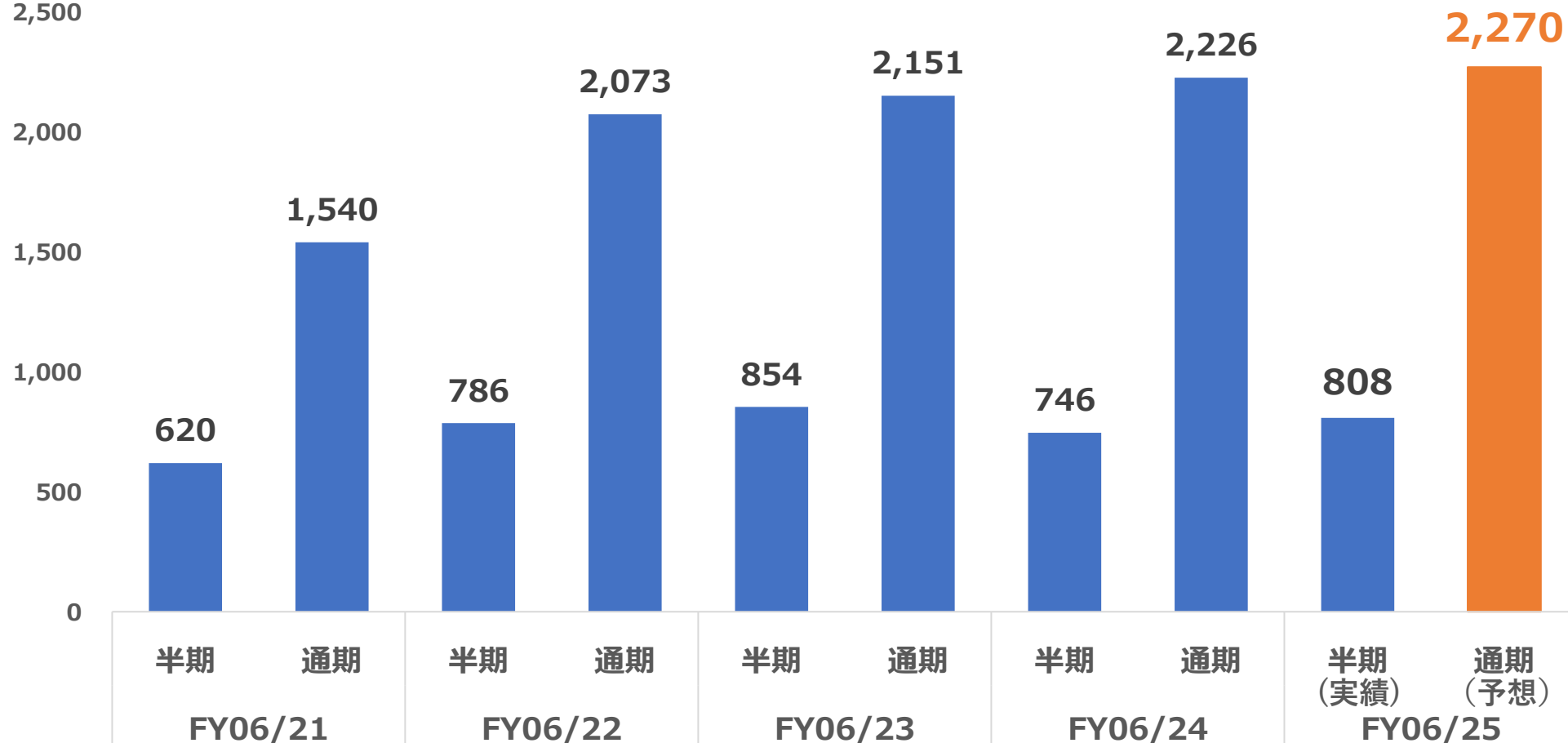


【連結営業利益】 過去最高の予想

2025年6月期 **22.7億円**の予想
(前期比1.9%増)

5期連続増益・過去最高へ

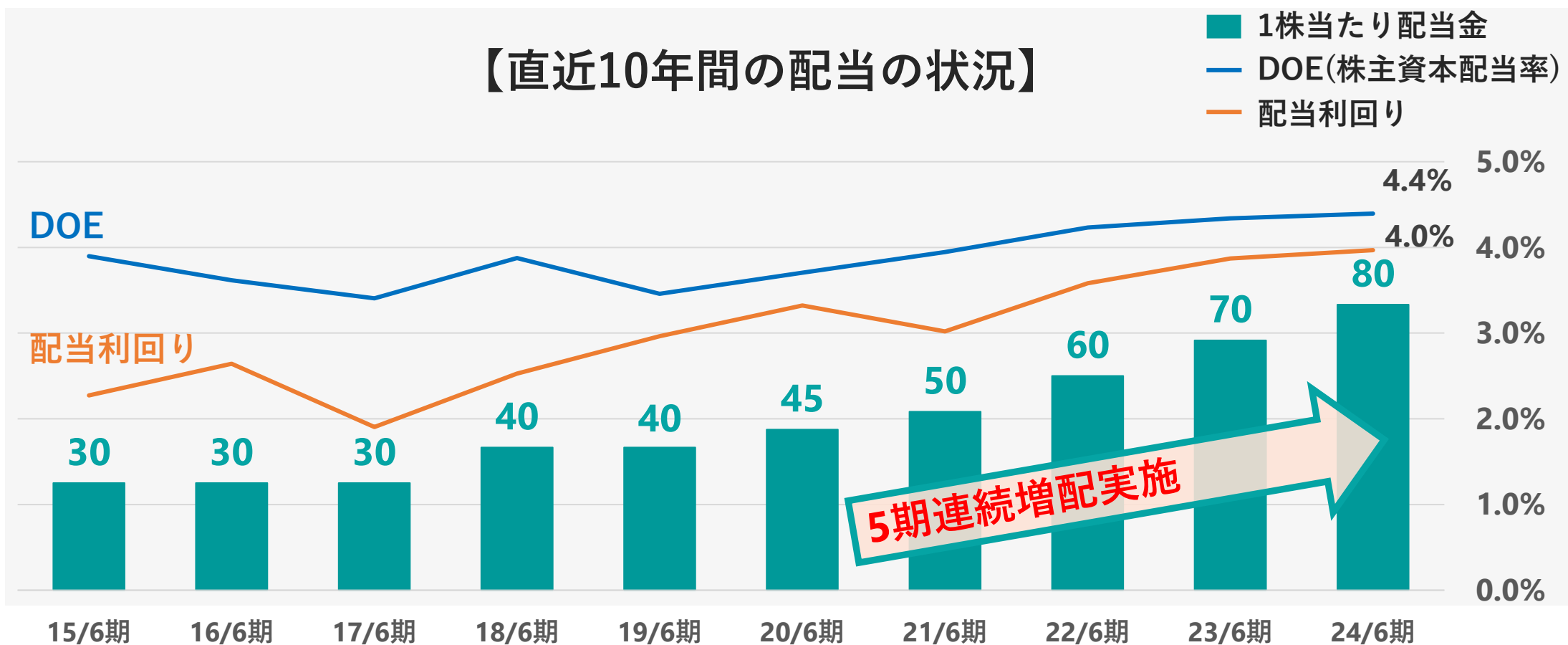
(百万円) 2,500



配当の基本方針

- ① **増配又は維持**を目指します
- ② 成長投資に備え内部留保に努めます

25/6期は80円の予想



※配当利回りは、各期の期末日時点の株価をもとに算定しています

当社が重視する財務指標

✓売上高

✓営業利益

✓ ROE (自己資本利益率) = $\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} \times 100\%$ 収益性の改善

収益性改善・新規事業推進等によりPBRの向上を目指す

$$\text{PBR} = \text{PER} \times \text{ROE} = \frac{\text{時価総額}}{\text{当期純利益}} \times \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$$

市場との対話

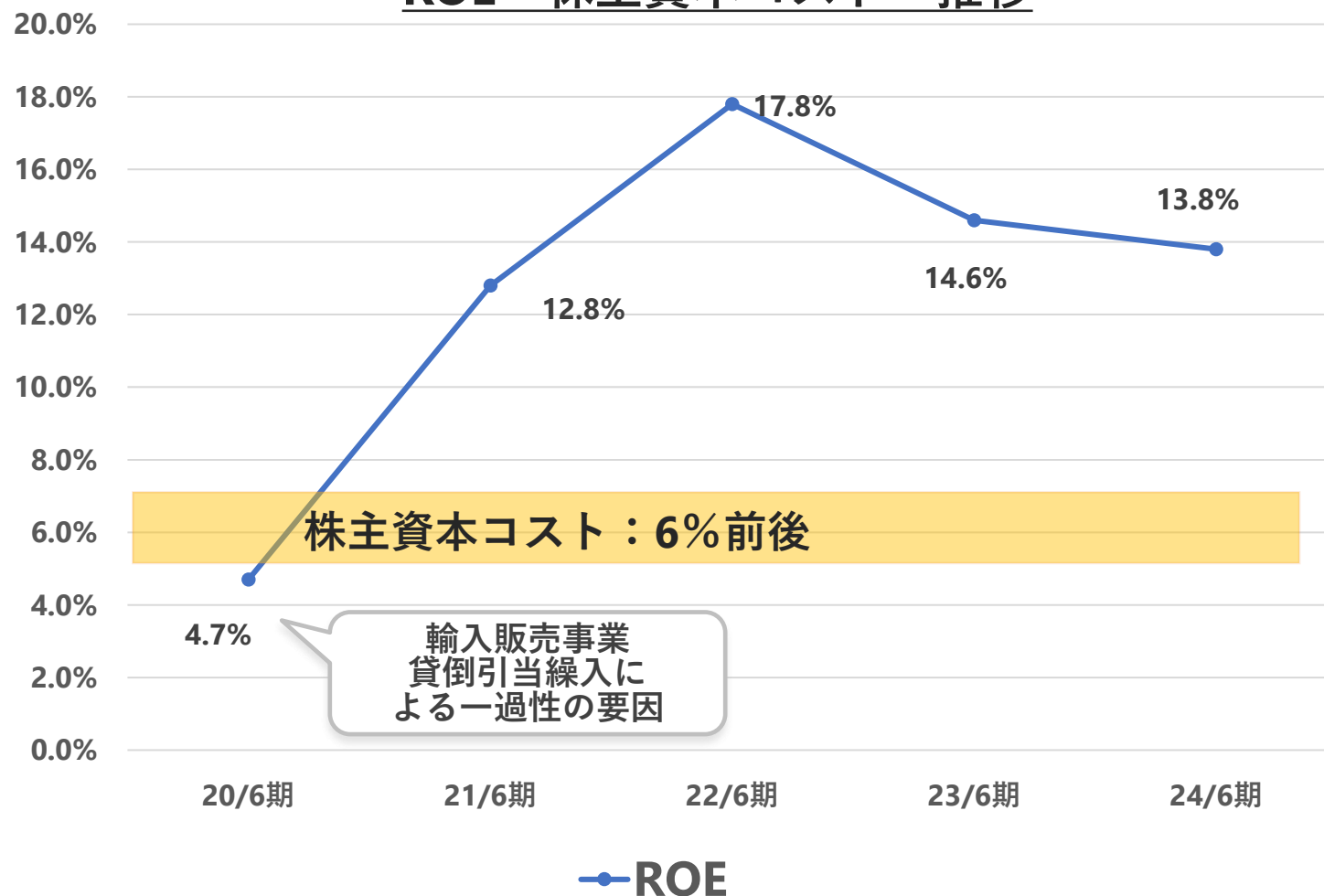
- ・川上化戦略
- ・新規事業
- ・海外展開

成長性の期待の醸成

収益性の改善

資本コスト・資本収益性 現状分析

ROE・株主資本コスト 推移

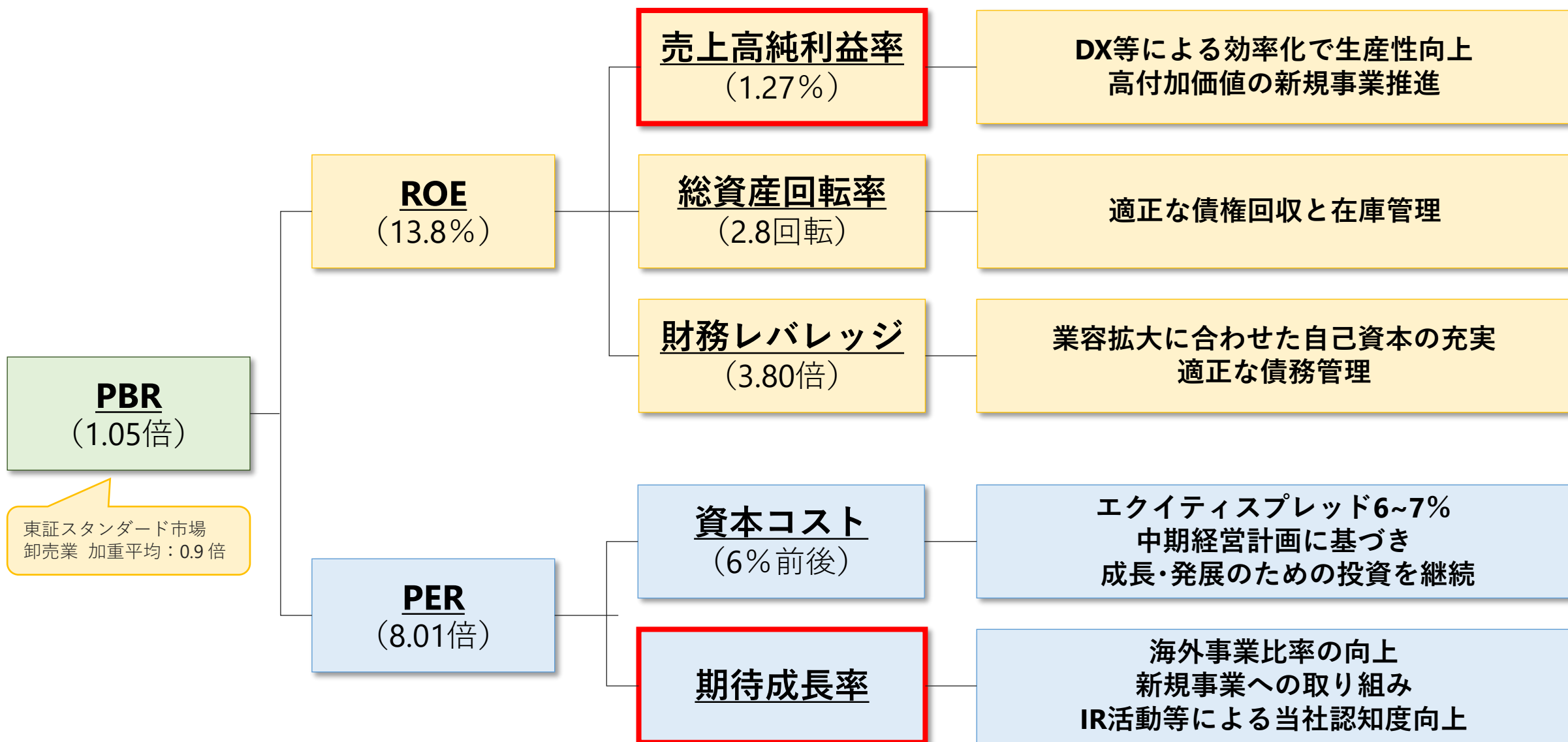


- ・ **エクイティスプレッド (%)**
(ROE-株主資本コスト)
⇒ **約6%~7%前後**
- ・ **継続的に資本コストを上回る資本収益性を達成**
- ・ **ROEの過去5年単純平均**
⇒ **12.7%**
- ・ **中期経営計画に基づき**
成長・発展のための投資を継続

※株主資本コスト算出参考値

・リスクフリーレート：10年国債利回り ・β値：0.8程度 ・マーケットリスクプレミアム：7%程度

PBR向上の取り組み



※()内 当社数値は、前期実績もしくは2024/6/30時点。東証指数は2024/6時点。

中期経営計画 概要



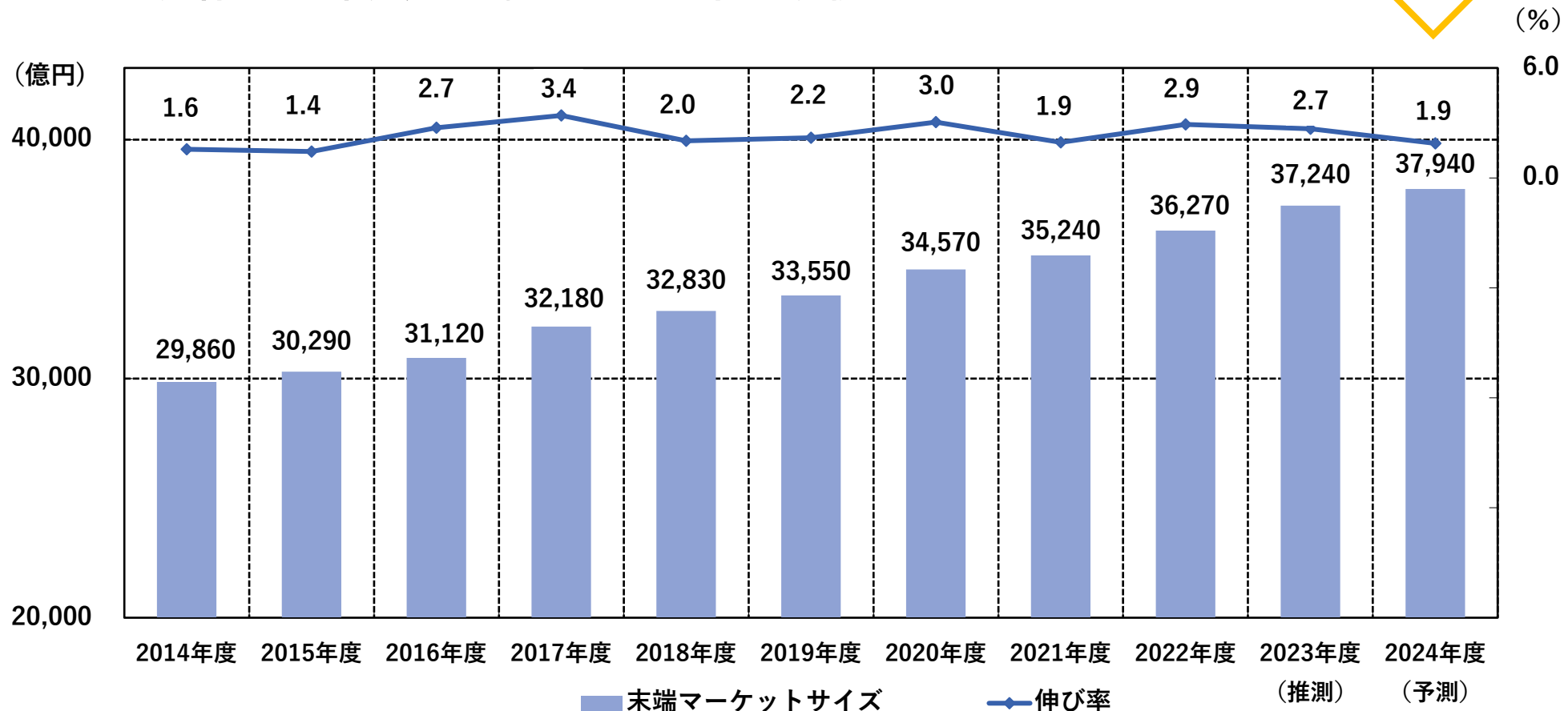
OLBA
HEALTHCARE

医療機器の国内市場規模

医療費抑制政策あるも安定的に市場成長

- ・ 新型コロナの影響から回復し、市場は安定的に拡大
- ・ 手術数増加や新規製品導入により市場規模拡大

2024年度は
3兆7940億円の予測



* (株)R&D 「医療機器・用品年鑑2023年版」 「医療機器・用品年鑑2024年版」 より加工

中期経営計画

(2027/6期：売上高1350億円、営業利益27億円)

2025/6期～2027/6期 中期経営計画のポイント

社員憲章の共有

生産性向上

ロジスティクス ・イノベーション

物流倉庫建設

仕入先との物流連携

域内物流のハブ機能

現業強化・効率化

営業活動の高度化 新地域・新顧客開拓

医療器材事業の仕入交渉力強化

整形外科業務のプロセス再構築

バックオフィス業務の合理化・効率化



OLBA
HEALTHCARE
つなぐ、人と未来。

サステナビリティ

人材育成・人材への投資

働き方改革／健康経営

エンゲージメント向上

ダイバーシティ促進

環境負荷の低減

コンプライアンス徹底

外部連携促進

業務提携推進

スタートアップ連携

医工連携

新規事業育成

ASEAN事業育成

バークメド事業拡大

未来への投資

OLBA-DX

CRM/SFA/BI構築

電子カタログ充実

Li-Flo活用・展開

商品マスタ改良

グループウェア更新

人事システム更新

ノーコードツール展開

各種AIの活用

ITスキルアップ

ITパスポート取得

e-learning受講

DX人材育成

2027/6期目標

売上高 **1350** 億円

営業利益 **27** 億円

VISION
2030

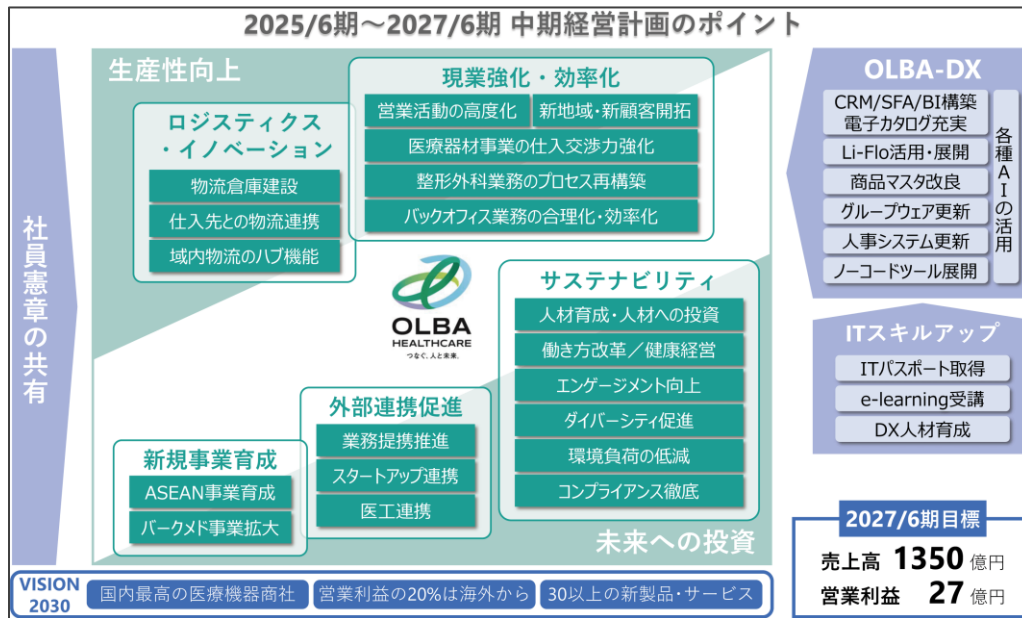
国内最高の医療機器商社

営業利益の20%は海外から

30以上の新製品・サービス

中期経営計画：取り組みの主なポイント

- **OLBA-DX**：業務効率化とICTツール活用による営業の質の向上
社員のITスキル向上にも取り組む
- **生産性向上**：現業強化とロジスティクスの革新（新物流センター建設）
安定供給を実現し、顧客提供価値の最大化を目指す
- **未来への投資**：新規事業育成、サステナビリティ確保を実現
人的資本投資や地球環境に配慮した取り組みを推進



以降のスライドで
『OLBA-DX』
『ロジスティクス・イノベーション』
『新規事業育成』
『サステナビリティ』
に絞り説明

稼働済み・取り組み中の施策

- **新たな価値創造**
 - ・ Webオーダーアプリ開発・稼働中
- **営業支援・業務効率化**
 - ・ 独自電子カタログによる営業活動アシスト
 - ・ 名刺管理システム運用中
 - ・ 経費精算システム運用中
 - ・ 物流統合システム開発・稼働中
 - ・ RPA、ノーコードツール活用拡大
- **強固なセキュリティ対策**
 - ・ EDR（エンドポイントセキュリティ）運用中
 - ・ 情報セキュリティ対策取り組み中



今後実施予定の取り組み

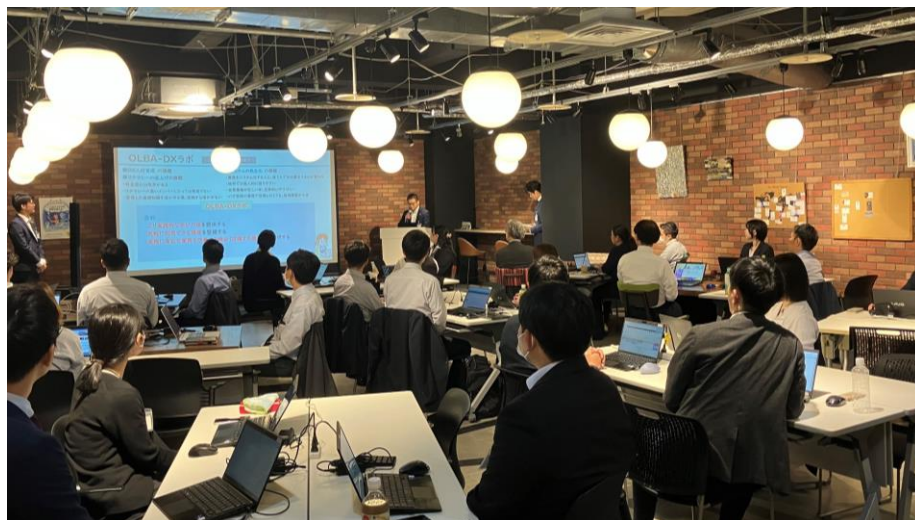
- **さらなる営業支援・業務効率化を推進**
 - ・ CRM、SFA構築
 - ・ 販売管理システムの刷新
 - ・ グループウェアの刷新
 - ・ 生成AI利用拡大

ノーコードツール活用勉強会

2024年11月に、岡山市で勉強会を開催

グループ各社から選抜された社員でグループワーク等を実施

生成AI活用勉強会など
今後も適宜実施予定



その他の全社向けの取り組み

e-Learningによる全社員向けDXリテラシー教育の実施や、理解度評価のアセスメントを実施

また、ITパスポート試験の受験を奨励

● 物流統合システム「Li-Flo」の稼働

2022年9月より事業会社のカワニシの拠点から順次稼働⇒グループ全体へ導入拡大へ



在庫管理強化

品質管理強化

貸出業務効率化

導入拠点での効果

- ・バーコード読取やシステム連携等により、商品ピック・納品書出力の効率化、棚卸時間削減の効果

● 新岡山物流センター建設

2027年7月稼働予定で医療器材事業の新物流センター建設を決定

建設の趣旨

- ・業務効率化、BCP対策、新たな物流ネットワーク構築
- ・中四国地域における医療機器供給のハブ拠点

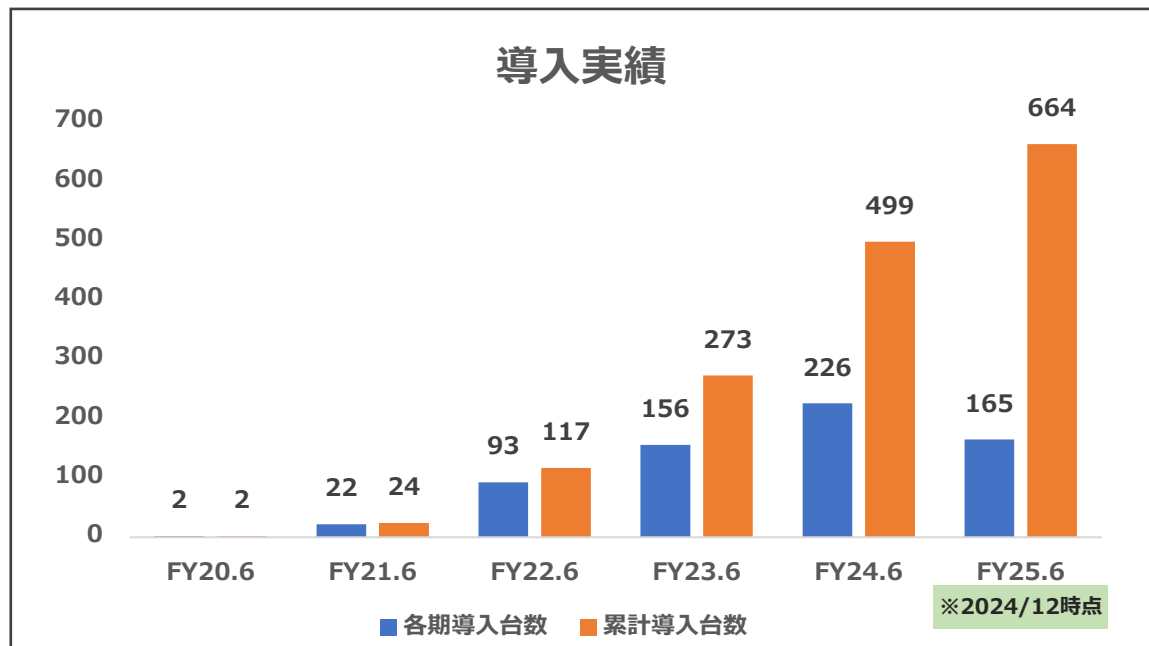
⇒「医療を止めない」の理念のもと、地域医療を支える拠点として医療機器の安定供給を担う



※詳細は「連結子会社におけるリースによる固定資産の賃借に関するお知らせ」をご覧ください

クリニック向け自動精算機「テマサック」シリーズ

- 2024年7-12月期導入実績 … **165**台
(対前年同時期+65台)
- 累計導入台数 … **664**台
(2024年12月末時点)



東京／名古屋／大阪／岡山／福岡に続き、
2024年7月に北海道の販売拠点を開設 30

低熱分解型アップサイクルユニット「OLSTECH」^{オルステック} 販売開始



低熱分解型アップサイクルユニット
オルステック
「OLSTECH」[®]

大阪大学 環境安全研究管理センターとの共同研究開発

特許取得済



廃プラや食品残渣、生ゴミ、木くず、排泄物などさまざまな有機性の廃棄物に対応しています。有機物であれば分別する必要はなく、運用方法はユニットにまとめて投入するだけです。炉内では化学反応熱を利用して持続的に低熱分解が行われ、投入してから数時間程度で、有機物が細かく炭化・減容され、最終的に炭酸カルシウムを主成分とする炭酸塩へと変換されます。電源があれば、24時間365日稼働可能で管理者の立ち会いも不要です。

OLSTECH | 3つの特徴

- 1) CO₂やダイオキシンの排出を大幅に抑制
- 2) 有機ゴミを300分の1の容積にサイズダウン, 二次利用
- 3) 省スペース&低ランニングコスト (化石燃料不使用)

・開発コンセプトは「ゴミを出さない」
・2024年11月、沖縄県竹富町で離島での
ごみ問題解消について運用実験開始

新生児Live 配信 & メモリアルムービー作成サービス 「Babyeets[®]」



Babyeets | 3つの特徴

- 01 専用カードを読み取るだけの簡単操作
- 02 遠隔地からのリアルタイム映像の視聴
- 03 退院後のメモリアル動画提供

【開発への思い】

- ・ 出産直後の感動や新生児の記録を 家族、親族へ届ける
- ・ 新生児に対する愛着形成の促進に 寄与することを目指す



左：メモリアルムービーサンプル
右：愛媛大学杉山院長インタビュー

2024年12月に、愛媛大学医学部附属病院で運用開始

タイ王国進出の理由

- ・ ASEAN地域の経済的・地理的ハブ機能
- ・ 今後急速な高齢化を見込む
- ・ タイ王国政府が医療産業育成に注力

タイオルバヘルスケアの主な事業

➤ 全自動錠剤分包機の販売

(株)タカゾノとタイにおける正規販売代理店契約締結
病院へ設置準備中

➤ リハビリ用機器の販売

(株)モリトー他日本メーカーと協力し販売準備進行中

(株)タカゾノ <https://www.takazono.co.jp/index.html>
(株)モリトー <https://www.moritoh.co.jp/>

【2023年1月26日設立記念式典 バンコク】



【(株)タカゾノ製品のタイ正規販売代理店】

TAKAZONO



全自動錠剤包装機

自動調剤台

Environment（環境）

低熱分解型アップサイクルユニット「OLSTECH」販売開始

Social（社会）

【人的資本投資・働き方改革】

定期昇給+ベアで4~5%程度、男性の育児休業取得者増加
女性活躍推進、社員エンゲージメント向上の取り組み中

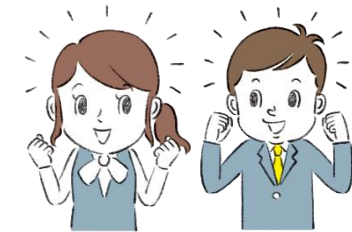
【健康経営】

健康経営戦略マップ策定中

2024年9月 長期収入サポート制度(GLTD制度)導入

【地域社会のため】

安全かつ質の高い医療・介護機器、サービスの提供



Governance（ガバナンス）

経営の透明性・効率性・健全性を確保。グループ価値向上の実現

成長の源泉 人材育成

体系的な人材育成・専門性の習得

30年の歴史を持つ社内教育制度「**OLBA Academy**」

社員のステージに合わせて学びの機会を設定。社員エンゲージメント向上

専門性・マネジメント力の構築
e-Learning講座も順次拡充



当社の「強みと活用」「弱みと対策」

強み・活用

- 中四国圏でシェアNo.1（顧客・仕入れ先からの信用が基盤）
⇒ 安定的な利益確保による新規投資実施が可能
- 成長の源泉となる人材育成・DX投資
⇒ 約1年間の新入社員教育等により、顧客のニーズを的確に把握
⇒ ICTツール活用による営業活動の後押し

弱み・対策

- 低利益率（卸売業の業界特性）
⇒ タイ王国を始めとした海外展開、自社開発商品等の高付加価値事業
- 大都市圏での低シェア（高い参入障壁による進出困難）
⇒ 新規事業による全国向け販売。自動精算機事業では約4割が関東圏での販売。
今年は「OLSTECH」「Babyeets」の販売も開始。

- ・ 電子カタログ
- ・ 物流統合システム
- ・ 経費精算システム
- ・ 名刺管理システム
- ・ RPA活用 他

● 新規顧客獲得、収益向上

- ・ 中四国エリアでの顧客開拓
- ・ 購買価格削減や保険請求漏れ確認等の病院経営サポート提案

● 在庫管理システム「メディリア」の広域販売

- ・ 中小病院での自主運用タイプ
- ・ 簡単・正確な在庫管理
- ・ 安価な課金制とリモートメンテナンス

顧客満足度と
生産性向上を図る



SPD在庫管理システム「Medilia(メディリア)」医療材料の在庫管理... 共有

病院在庫管理
SPDシステム

Medilia
メディリア

YouTube
動画はこちら

YouTube動画 <https://www.youtube.com/watch?v=iYxAzGT6Utl>

● 既存エリアのシェアアップ

- ・ フォロー体制充実で顧客サービス強化
- ・ ICTを活用した営業活動の推進

● サービスの強化・物品販売

- ・ 介護施設向け取引強化
- ・ 補聴器販売、車いす修理サービス



● 介護用住宅リフォームの自社施工

- ・ 新規利用者の開拓
- ・ 安心・安全のサービス提供



介護用ベッド

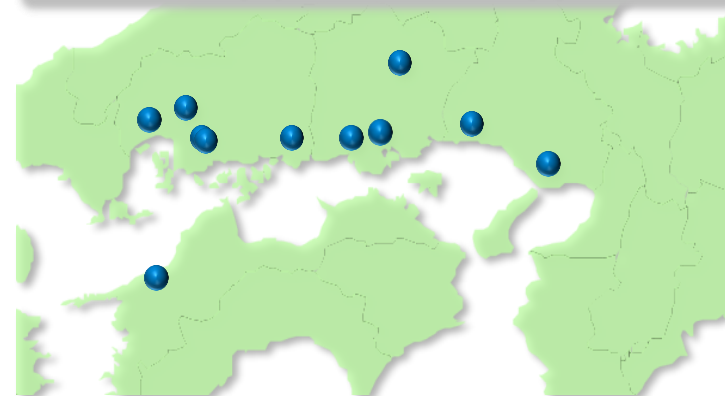


車いす



補聴器

瀬戸内圏へ追加出店計画中



參考資料



OLBA
HEALTHCARE

会社概要

商号 オルバヘルスケアホールディングス株式会社
(旧商号 株式会社カワニシホールディングス)

本社 岡山市北区下石井一丁目1番3号

創業 1921年 5月

設立 1967年10月

代表者 代表取締役社長 前島 洋平

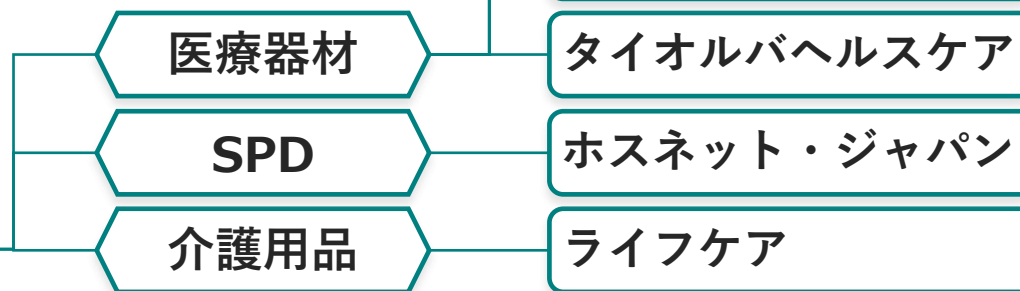
資本金 607,750千円

従業員 1,367名 (連結・2024年12月末)

決算期 6月末

2020年3月 東証一部銘柄に指定
2022年4月 スタANDARD市場へ移行

OLBA HD



整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオ

沿革

- 1921年5月 岡山市大雲寺町（現在の岡山市北区中央町）に、川西器械店を創業。
- 1927年9月 合資会社川西器械店に改組・設立。
- 1950年6月 有限会社川西器械店に改組・設立。
- 1967年10月 川西医科器機株式会社に改組・設立。
- 1985年10月 株式会社ライフケアを設立。
- 1996年7月 株式会社ホスネット・ジャパンを設立。
- 1999年1月 香川精器株式会社、株式会社四国メディカルアビリティーズと三社合併。
同時に商号を株式会社カワニシに変更。
- 2000年12月 東京証券取引所市場第二部へ上場。
- 2004年1月 営業部門を株式会社カワニシとして新設分社により設立。
同時に商号を株式会社カワニシホールディングスに変更。
- 2005年6月 日光医科器械株式会社の株式を100%取得。
- 2012年1月 サンセイ医機株式会社の株式を100%取得。
- 2014年8月 グループの業容拡大に伴い、岡山市北区下石井一丁目1番3号に本社移転。
- 2016年1月 株式会社エクソーラメディカルを設立。
- 2019年7月 株式会社カワニシパークメドを設立。
- 2020年3月 東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定。
- 2021年1月 創業100周年を記念して、商号をオルバヘルスケアホールディングス株式会社に変更。
- 2022年4月 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、スタンダード市場へ移行。
- 2022年6月 株式会社カワニシパークメドの株式を100%取得
- 2023年1月 タイ王国にタイオルバヘルスケア株式会社（THAI OLBA Healthcare Co., Ltd.）を設立。
- 2024年1月 株式会社オルシードを設立。

OLBAグループ 社員憲章

事業のあり方

- ビジネスを通じて、医学・医療・介護の発展に貢献し、国民の健康長寿に寄与する
- 革新的な新機能・新技術の恩恵を、患者と医療機関に速やかに適切に提供する
- ステークホルダー（顧客、取引先、社員、地域社会、株主）の皆様に、誠実かつ継続的に価値を提供し、持続可能な経営を追求する
- 業界の内外を問わず積極的に交わり、創造性を育み、グローバルな視点でフロンティアを探求する

組織のあり方

- 人材育成を尊び、「マネジメント（人を通じて事を成す）」に重きをおく
- ダイバーシティを重視し、多様な意見や価値観、働き方を認め合う
- いかなるときも、フェアな競争と取引を心掛ける
- 競争によってもたらされた成果は、新たな価値を創造するために再投資する
- メンバーが心身ともに健康で、貢献意欲を持つことのできる環境を整備する

メンバーのあり方

- 自発的かつ主体的な成長意志を持つ
- 過去の成果に安住せず、謙虚に学び続ける
- 自身の貢献や努力なしに便益を得ようとするフリーライディングを善しとしない
- 社内外のビジネス上のパートナーを尊重し、高い倫理観と誇りをもって業務に臨む

連結貸借対照表 (2025年6月期第2四半期)

			百万円		
資産	金額	増減	負債・純資産	金額	増減
現金・預金	2,643	△87	仕入債務	28,416	2,216
売上債権	27,824	1,711	短期借入金	2,700	2,100
商品	7,165	1,222	その他	1,805	△1,110
その他	625	△175	流動負債計	32,921	3,206
流動資産計	38,257	2,671	リース債務(固)	953	61
有形固定資産	5,127	767	その他	1,399	142
無形固定資産	625	△20	固定負債計	2,352	203
投資その他資産	2,766	120	負債合計	35,273	3,410
固定資産計	8,518	867	純資産合計	11,502	128
資産合計	46,776	3,538	負債純資産合計	46,776	3,538

※増減は前期末比

1株当たり純資産 1,941.42円

連結キャッシュフロー計算書(2025年6月期第2四半期)

	百万円	2024年6月期 第2四半期	2025年6月期 第2四半期
税引前利益		745	815
減価償却費		259	289
売上債権の増減額(△は増加)		△1,629	△1,711
棚卸資産の増減額(△は増加)		△429	△1,147
仕入債務の増減額(△は減少)		1,474	2,216
その他		△565	△1,261
営業キャッシュフロー		△145	△799
有形固定資産取得による支出		△154	△797
無形固定資産取得による支出		△87	△83
関係会社貸付けによる支出		△100	-
その他		△33	△8
投資キャッシュフロー		△374	△888

連結キャッシュフロー計算書(2025年6月期第2四半期)

		百万円	2024年6月期 第2四半期	2025年6月期 第2四半期
	短期借入金の純増減額 (△は減少)		1,800	2,100
	長期借入金の返済による支出		△55	-
	自己株式の取得による支出		△221	△135
	自己株式の処分による収入		1	139
	配当金の支払額		△435	△488
	その他		△76	△77
	財務キャッシュフロー		1,014	1,539
	現金・現金同等物の増減額(△は減少)		521	△148
	現金・現金同等物の期首残高		2,359	2,681
	その他		-	60
	現金・現金同等物の期末残高		2,881	2,593

連結経営指標等の推移①

項目	単位	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6
売上高	百万円	97,872	102,072	107,959	110,472	118,564
営業利益	百万円	927	1,540	2,073	2,151	2,226
経常利益	百万円	905	1,542	2,119	2,158	2,244
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	326	989	1,535	1,414	1,500
純資産	百万円	7,281	8,131	9,093	10,327	11,373
総資産	百万円	33,683	36,562	39,968	40,878	43,237
BPS	円	1,197.17	1,336.91	1,513.91	1,712.19	1,922.58
EPS	円	56.76	162.66	252.80	234.90	251.68
自己資本比率	%	21.6	22.2	22.8	25.3	26.3
ROE	%	4.7	12.8	17.8	14.6	13.8
ROA	%	2.7	4.4	5.5	5.3	5.3
PER	倍	23.85	10.17	6.63	7.70	8.01
PBR	倍	1.13	1.24	1.11	1.06	1.05

連結経営指標等の推移②

項目	単位	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6
営業CF	百万円	862	3,126	2,420	△659	2,084
投資CF	百万円	△496	△630	△211	△306	△673
財務CF	百万円	439	△2,262	△1,169	175	△1,089
現金及び現金同等物	百万円	1,877	2,110	3,149	2,359	2,681
銀行借入金	百万円	2,615	795	275	955	600
従業員数	人	1,222	1,261	1,289	1,317	1,354
うち医療器材	人	892	913	938	955	982
うちSPD	人	171	177	175	177	174
うち介護	人	120	131	135	138	147
うち輸入販売	人	2	-	-	-	-
うち本社	人	37	40	41	47	51

※2021/6より、輸入販売事業を除外しています。

(前期) 2024年6月期 連結業績

売上高、売上総利益、営業利益、経常利益が過去最高

	百万円	予算比	前期比
売上高	118,564	+0.2%	+7.3%
売上総利益	13,600	△2.0%	+5.0%
売上総利益率	11.47%		
販売管理費	11,374	△2.6%	+5.3%
営業利益	2,226	+1.2%	+3.5%
経常利益	2,244	+1.6%	+4.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500	+3.3%	+6.1%

1株当たり当期純利益 251.68円

(前期) 2024年6月期 業績まとめ

※過去最高を更新

売上高

1,185億円
(前期比+7.35%)

ROE

13.8%
(5年平均12.7%)

配当利回り

4.0%
(※2024/6/30時点)

※過去最高を更新

営業利益

22.2億円
(前期比+3.5%)

PBR

1.05倍
(※2024/6/30時点)

DOE

株主資本配当率

4.4%
(※2024/6/30時点)

CSRの取り組み 地域に根差した社会貢献

地域のみなさまとともに歩み、地域の発展・活性化につながる未来を

ファジアーノ岡山 クラブスポンサー

2006年設立 岡山県初のプロサッカークラブ
2024年 J1 昇格決定



岡山テックプランター パートナー企業

岡山発の技術をベースに新規事業創出と
ベンチャー育成・支援



岡山リベッツ チームスポンサー

2018年設立の男子卓球チーム
全国リーグ「Tリーグ」に参戦



大原美術館 オフィシャルパートナー

岡山県倉敷市に昭和5年設立
日本初の西洋美術中心の私立美術館



日本医工ものづくりコモンズ MINCの会 「海外医療機器の最新動向勉強会」

Medical Globeに掲載の

海外の最新医療機器情報について多業種間で情報共有と議論を行う

医師・メーカー・経済産業省・厚生労働省・特許庁・AMED・PMDA・

当社MG編集部が参加、意見交換 〈2017年10月開始〉

第33回：2025年3月実施予定 国立国際医療研究センター・オンライン開催



会社情報・問い合わせ先

- 【事業年度】 毎7月1日から翌年6月30日まで
- 【定時株主総会】 毎年9月開催
- 【上場証券取引所】 東京証券取引所（スタンダード市場）
証券コード 2689
- 【単元株式数】 100株
- 【お問い合わせ先】 オルバヘルスケアホールディングス株式会社
常務取締役管理本部長 村田 宣治
info@olba.co.jp
TEL：086-236-1115
FAX：086-236-1116

- 本資料で提供されている情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 資料に掲載された意見や予測は、資料作成時に入手可能な情報に基づく当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についても何ら補償するものではありません。記載された内容が予告無しで変更される場合もあります。
- 本資料は、当社を理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。投資に関する最終的な意思決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。